

西國
三十三
行

觀音靈場記圖會二

八波
1807
5-2



八波生
1807
卷 5-2



番 七

大和國高市郡

岡寺

本尊如意輪觀世音

丈六坐像

閑基義淵僧正

大和國城上郡

長谷寺

号豊豆山

神樂院

本尊十一面觀世音

御長二丈六尺

閑基徳道上人

南都興福寺

南圓堂

本尊不空羂索自觀世音

御長一丈六尺

弘法大師御作



番 九

興福寺

信濃のりほのつりつふからぬ... 月宮のつらあまの千は水晶珠... 大信濃のつらあま... 初づらうと奉る... 蓋寺と名付... ありしとき... 一々かき... もゆりかひ...

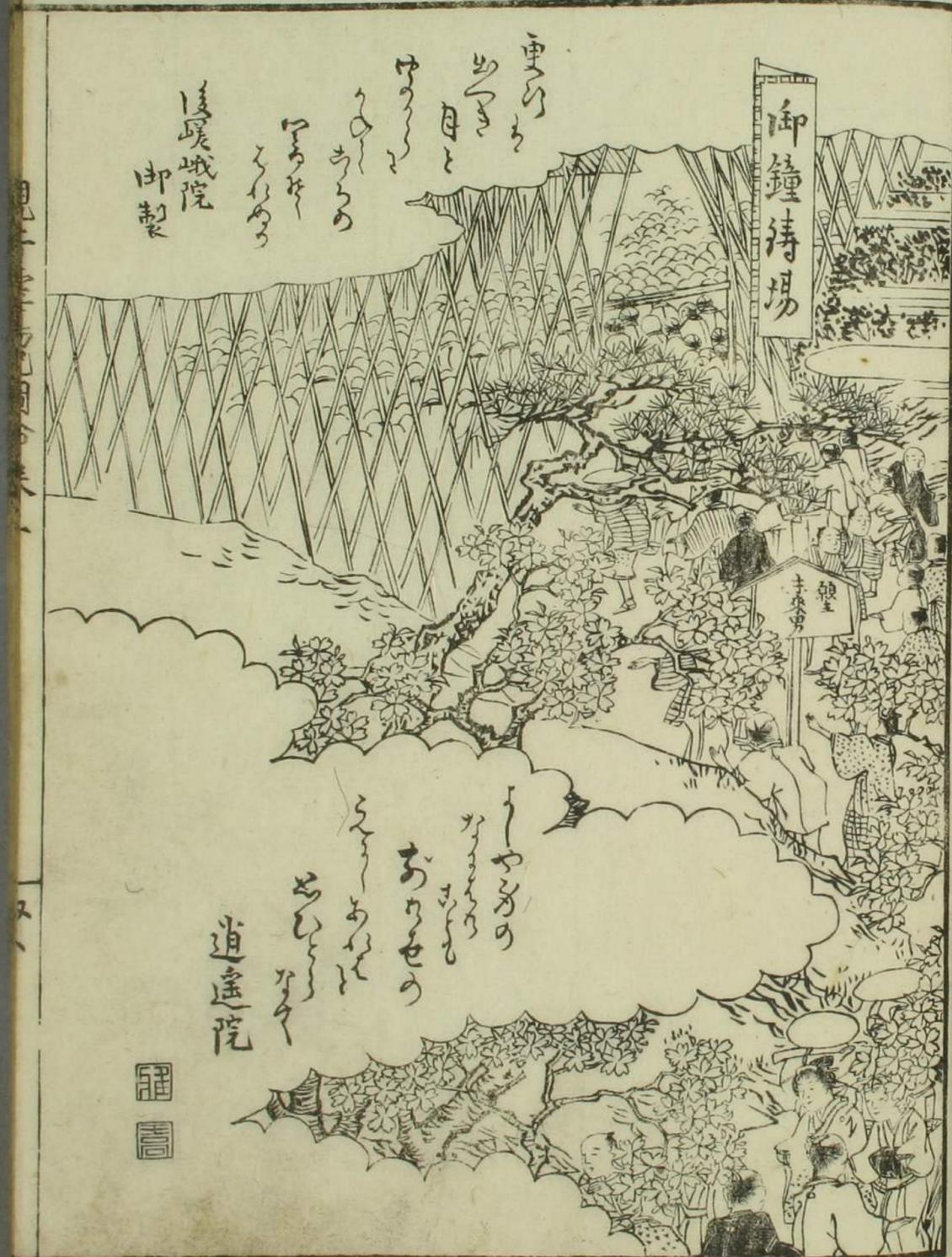
信濃のりほのつりつふからぬ... 月宮のつらあまの千は水晶珠... 大信濃のつらあま... 初づらうと奉る... 蓋寺と名付... ありしとき... 一々かき... もゆりかひ...



羅
圖

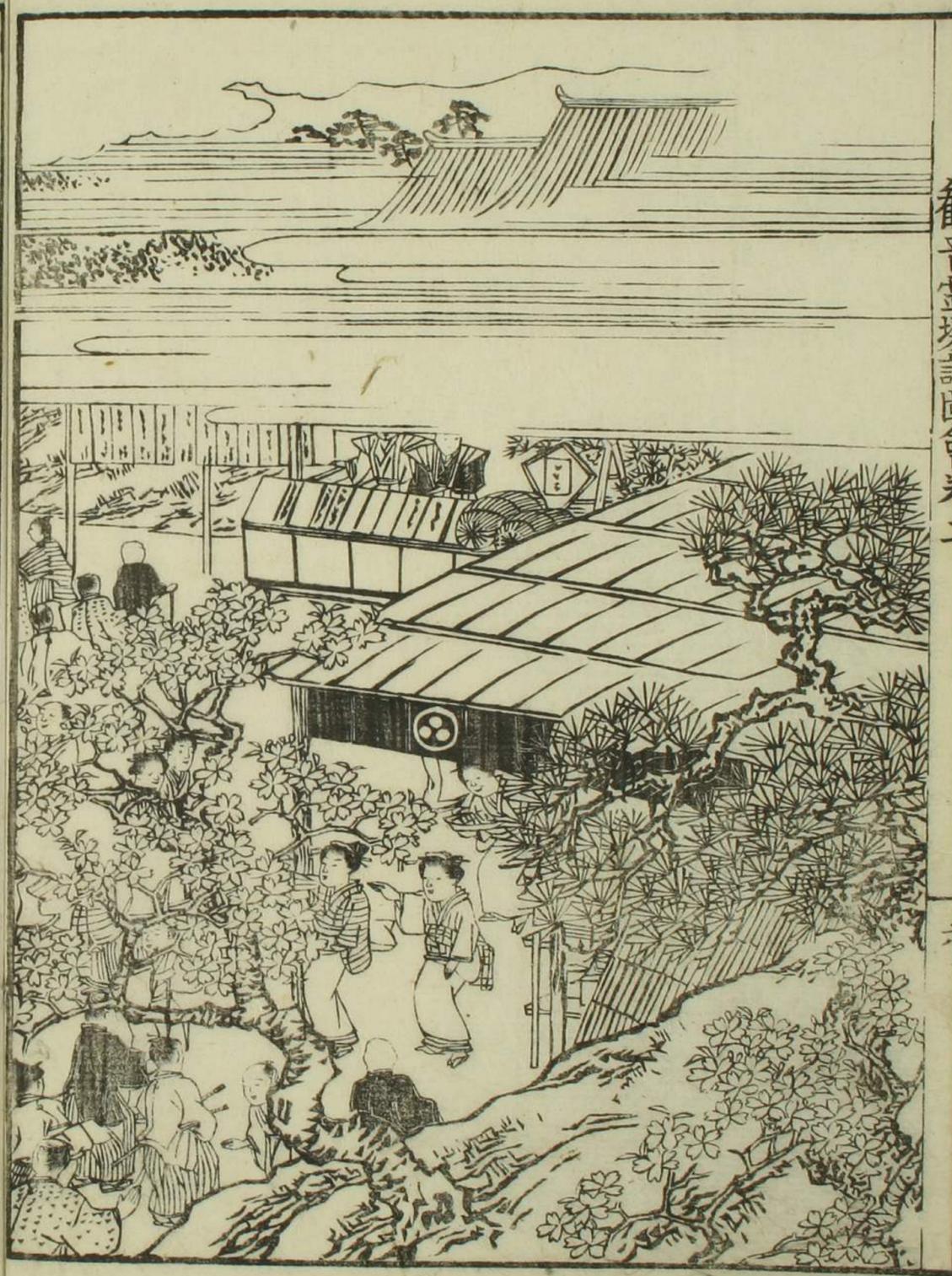
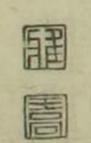


くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり



鐘待場
御製
後院

道達院

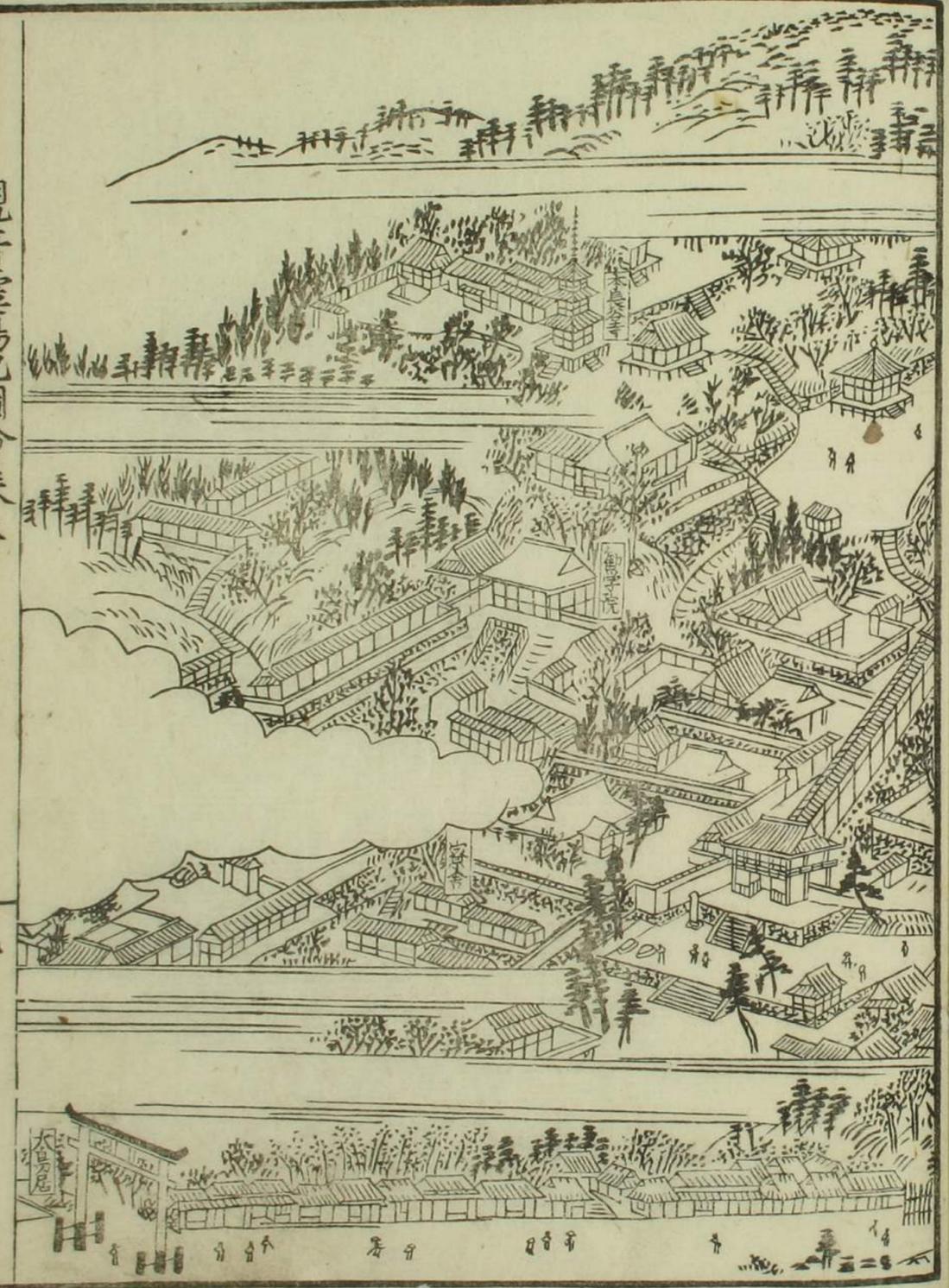


鐘待場前園會卷一

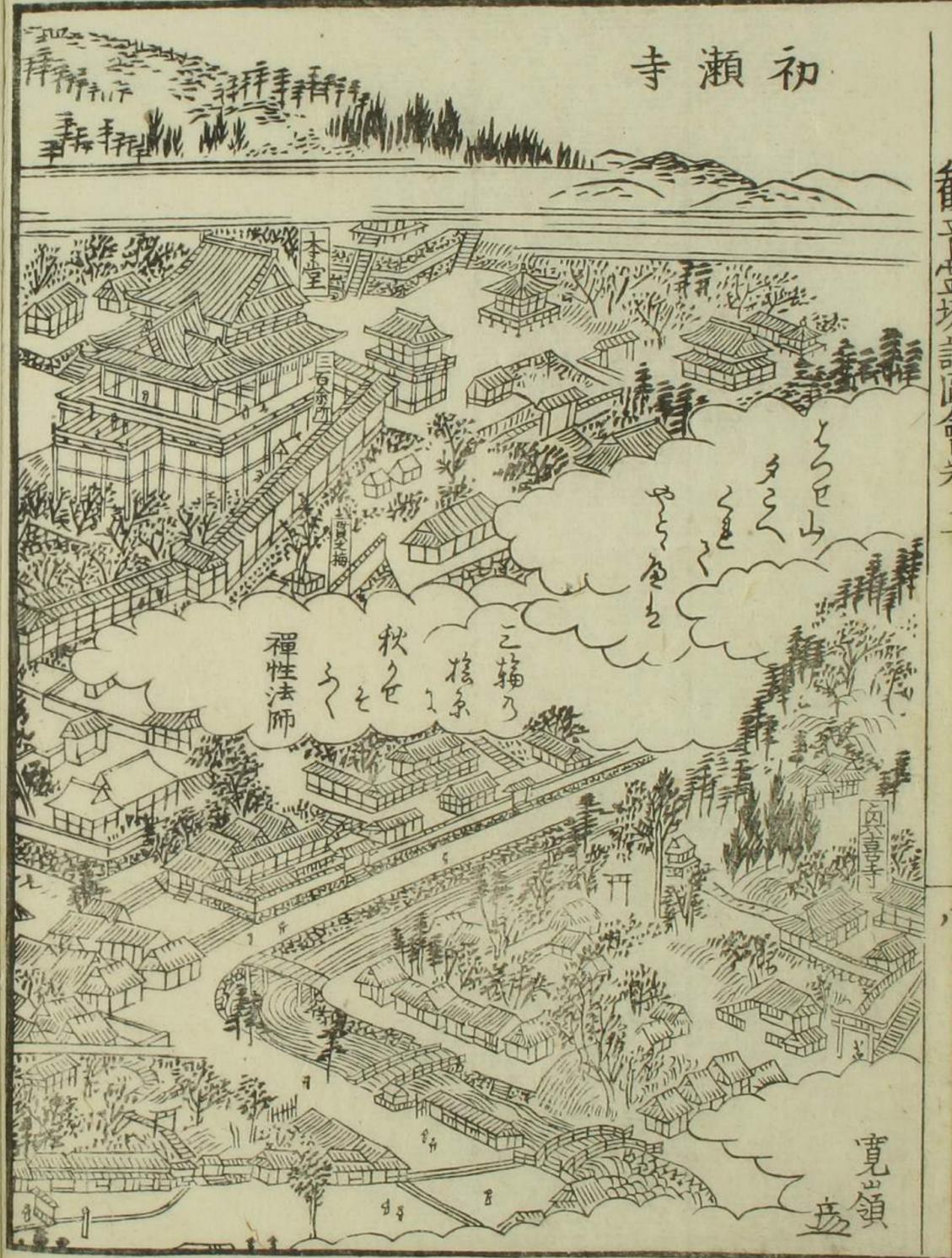
見上...

...

見立町馬巴圖



初瀬寺



有馬屋立坂言田舎

寛嶺

仙洲の... 船... 矢...

仙洲守兼隆の周縁

長谷の約... 仙洲守兼隆... 周縁... 仙洲... 矢...

仙洲守兼隆... 周縁... 仙洲... 矢... 仙洲守兼隆の周縁... 仙洲... 矢...

しり小信結も信心折あひて一すうてまつる人もあはれ
しければしつゝおぼやかくなりかたはれむきまのむねは
子の命とこころをまなしてとまた十七日のおぼやかし
まゝ若うつゝる程のつゝもあはれなりあはれなりゆめ
日よ暮らしたるの杖をくわへておぼやかしくもあはれ
信結ならぬ一使はれしつゝあはれむのたまはる程の
法人あはれむいゝおぼやかしくもあはれむのたまはる
と建てばつゝおぼやかしはつひはつひはつひはつひは
あはれむのたまはる程の信結なりつひはつひはつひは
つひはつひはつひはつひはつひはつひはつひは

御詠歌

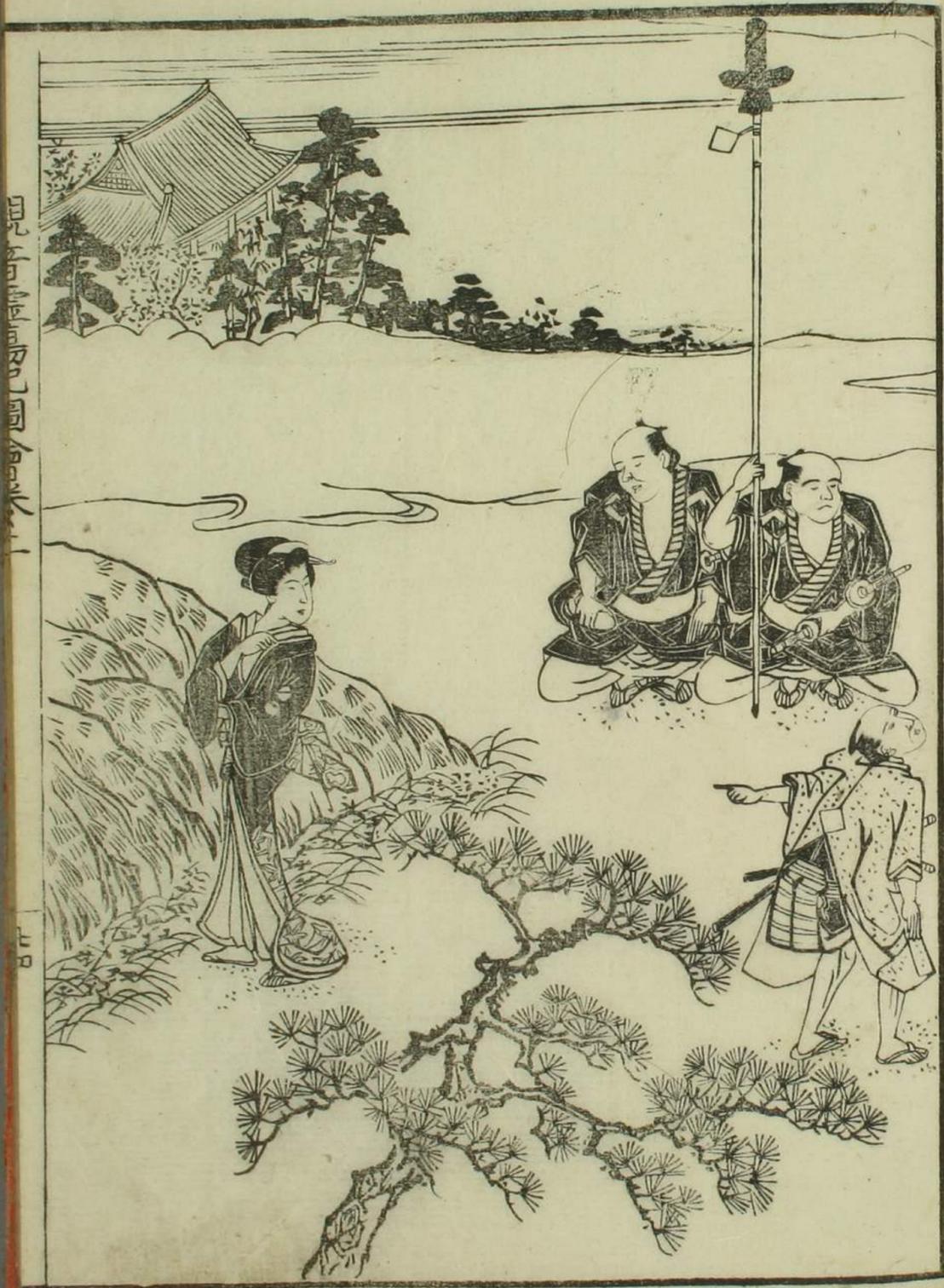
つゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかし
つゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかし

けい信結のつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかし

つゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかし

とあるはつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかし
おぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかし
つゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかし
つゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかし
つゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかし
つゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかし
つゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかし
つゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかし

○つゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかし
つゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかし
つゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかし
つゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかし
つゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかし
つゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかし
つゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかし
つゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかし
つゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかしつゝおぼやかし



江戸名所図会

四八

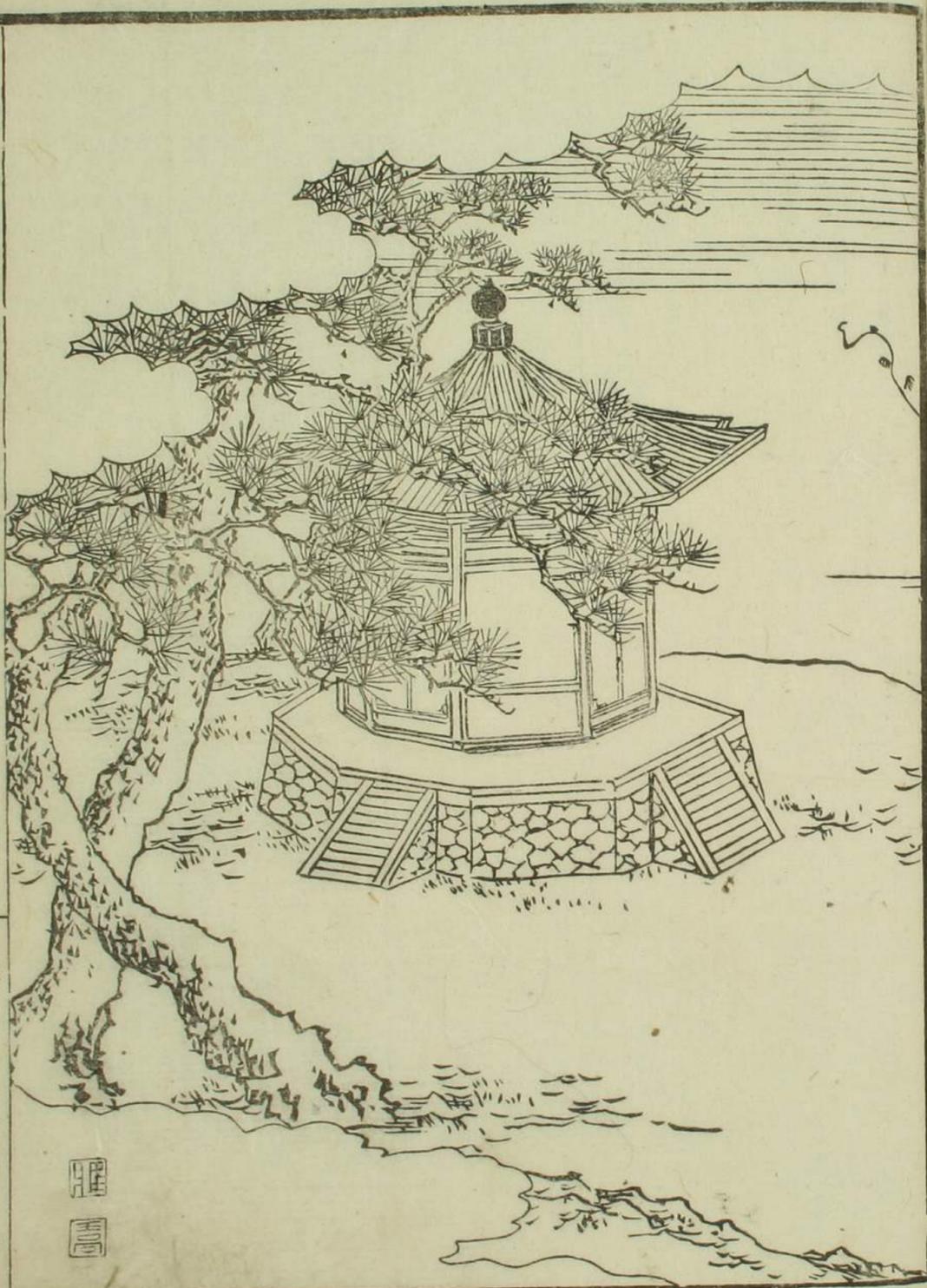


江戸名所図会

四九

己下之景
進友山画





雅
圖



Handwritten musical notation on the right page, consisting of a single staff with various notes and rests.

御詠歌

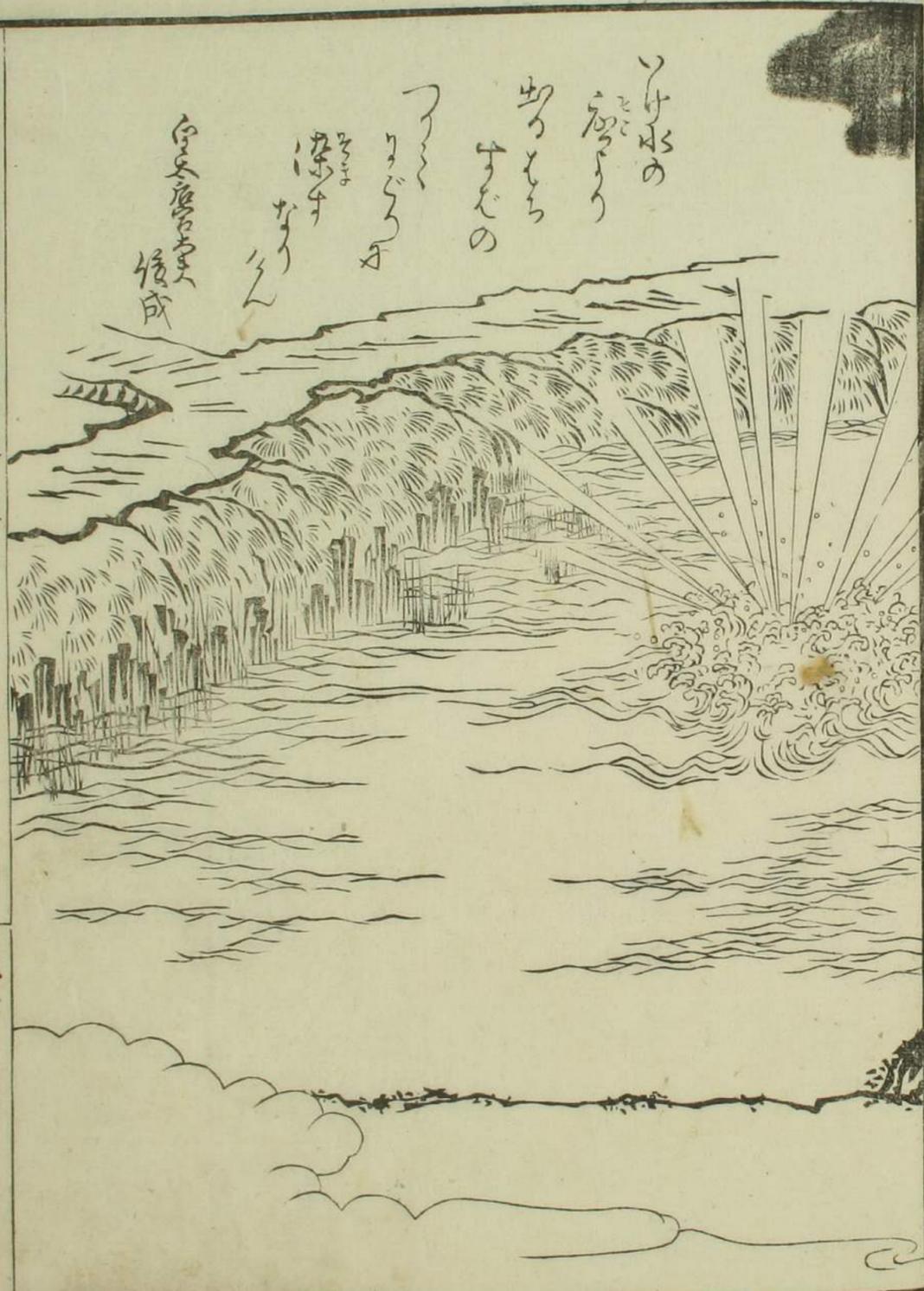
Handwritten title and introductory text for the 'Imperial Song' section.

Handwritten musical notation on the left page, consisting of a single staff with various notes and rests.

Additional handwritten musical notation on the left page, continuing the piece.

一、^一 ^二 ^三 ^四 ^五 ^六 ^七 ^八 ^九 ^十 ^{十一} ^{十二} ^{十三} ^{十四} ^{十五} ^{十六} ^{十七} ^{十八} ^{十九} ^{二十}
 一、^{二十一} ^{二十二} ^{二十三} ^{二十四} ^{二十五} ^{二十六} ^{二十七} ^{二十八} ^{二十九} ^{三十} ^{三十一} ^{三十二} ^{三十三} ^{三十四} ^{三十五} ^{三十六} ^{三十七} ^{三十八} ^{三十九} ^{四十}

一、^一 ^二 ^三 ^四 ^五 ^六 ^七 ^八 ^九 ^十 ^{十一} ^{十二} ^{十三} ^{十四} ^{十五} ^{十六} ^{十七} ^{十八} ^{十九} ^{二十}
 一、^{二十一} ^{二十二} ^{二十三} ^{二十四} ^{二十五} ^{二十六} ^{二十七} ^{二十八} ^{二十九} ^{三十} ^{三十一} ^{三十二} ^{三十三} ^{三十四} ^{三十五} ^{三十六} ^{三十七} ^{三十八} ^{三十九} ^{四十}



白雲岩堂
後成

いけの水の
なまけり
ものもろ
すじの
~~~~~  
なまけり  
なまけり  
なまけり

鹿野山園合巻一

九



鹿野山園合巻一

春山画

此本松の八寸巻書かゝる勅封となく一紙書かぬ  
ゆふぬなる御や書もあふたたく心もなさんとの  
ふあつそのなり

御詠歌

夜もすがら月をみむらこわけゆげぢ  
くらりの川流るらたつら

いよのすがら月をみむらこわけゆげぢ  
くらりの川流るらたつら  
花川流るら白浪のさうさうと  
くさくさい酒飲就着のききき  
雅を夫のなんごまろ色  
まきのかうらんや伸のひらひら

○又巻書の御詠歌  
石丸のひらひらとたつら

いよのすがら月をみむらこわけゆげぢ  
くらりの川流るらたつら  
花川流るら白浪のさうさうと  
くさくさい酒飲就着のききき  
雅を夫のなんごまろ色  
まきのかうらんや伸のひらひら



御神歌

遷縁しむるぞとすむねなる

あひまのいんちうのいんちう

遷縁のつれづれの事さしていんちうをいんちうにうつす

あひまのいんちうのいんちうのいんちうのいんちう

いんちうのいんちうのいんちうのいんちうのいんちう

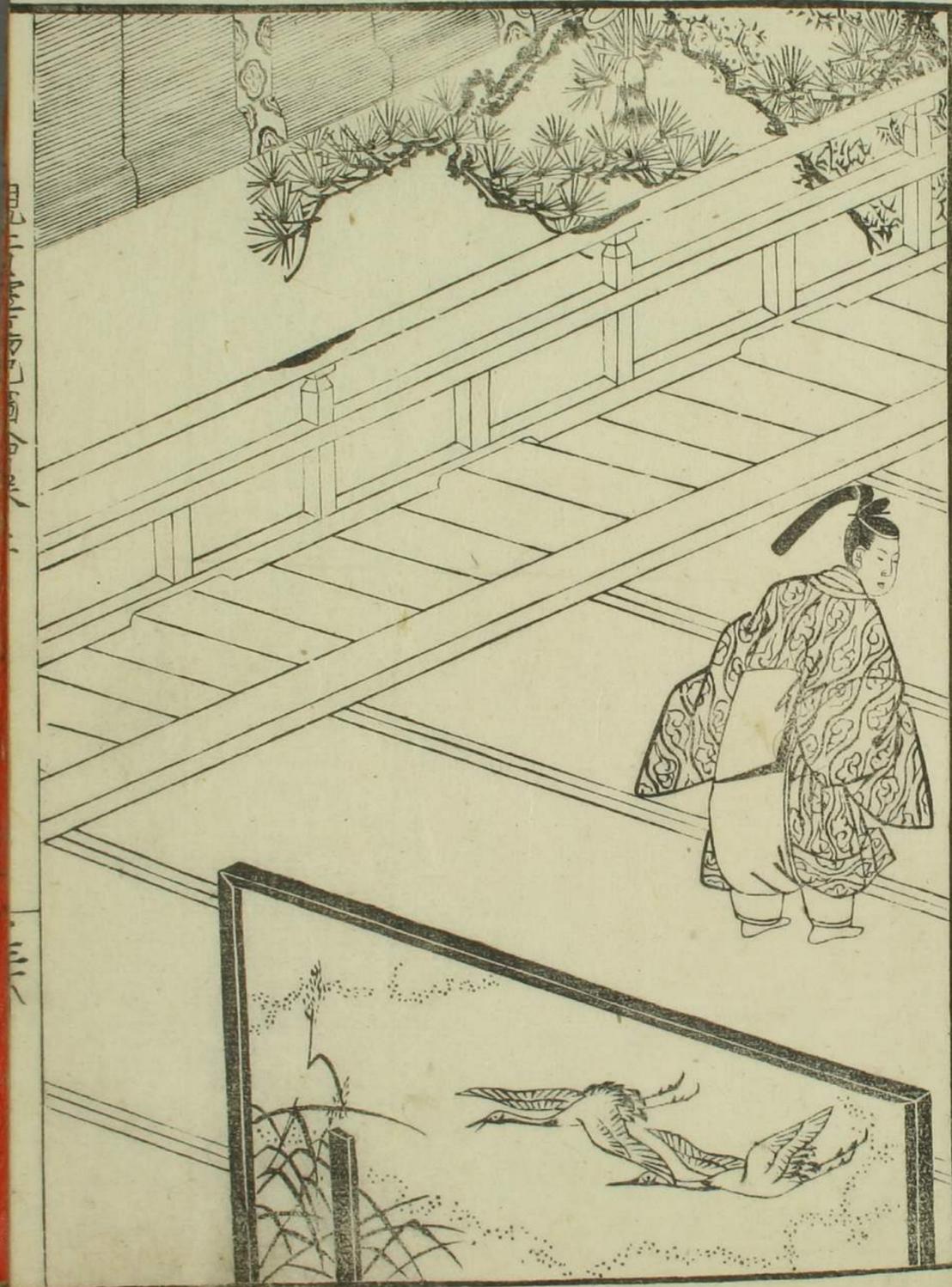
此は方とあつて奉りていんちう

○いんちうのいんちうのいんちうのいんちうのいんちう

いんちうのいんちうのいんちうのいんちうのいんちう







御前御座

三十一



御前御座

三十二

五山画



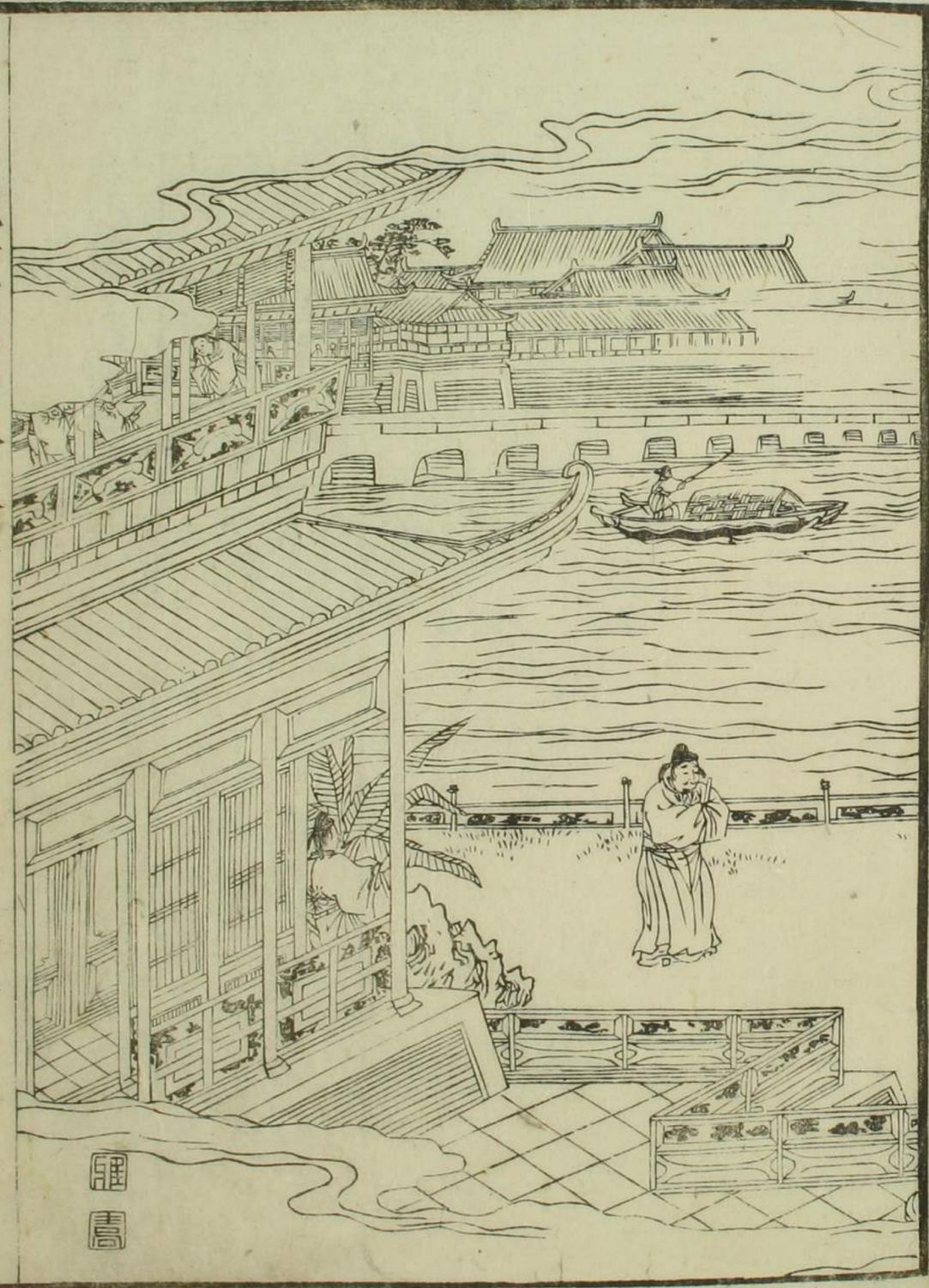


びんとせしむる入申す指す水知りて  
 さかすねらわぬがよけがなやうの  
 さやうはやくとすうわあはたけり  
 りつふかみかたてんたりとも  
 引をりてうなむをいふ  
 るつふ一たうてうりたる  
 さいふふの春の  
 和音のよそとてうの  
 りんふふふとわあわれむ  
 かしこむとわあわれむ  
 むらふはのうごふのま  
 ねふはのうごふのま  
 むらふはのうごふのま  
 むらふはのうごふのま

### 御詠歌

山よちいづつかならん  
 かしこむとわあわれむ

山よちいづつかならん  
 かしこむとわあわれむ  
 さきのせうとてん牛とありて  
 ろのいづつかならん  
 多しとあざ  
 青との浪風をのま  
 かいとよま  
 といの海糸  
 ちやんやんやん  
 ちやんやんやん



羅  
書



人... 海防... 義士... 傳...  
 人... 海防... 義士... 傳...  
 人... 海防... 義士... 傳...  
 人... 海防... 義士... 傳...  
 人... 海防... 義士... 傳...

名... 海防... 義士... 傳...  
 名... 海防... 義士... 傳...  
 名... 海防... 義士... 傳...  
 名... 海防... 義士... 傳...  
 名... 海防... 義士... 傳...



